

西成

Nishinari

防火防災てんこ盛り

幼児期からの防火防災教育の取組として管内17か所の保育所、幼稚園にミニ消防車で訪れた。「ジャン」とベルが鳴り響くとグラウンドに避難し、先生の通報・消火訓練を見学、教室に戻って、電子紙芝居で火災、地震の怖さを伝えると興味深く聞いていた。

未来の防火防災の担い手たちへは、災害の危険性を伝え自分を守る意識を芽生えさせるとともに、今が安全・安心であるため、立入検査の際に先生へ防火防災指導し、未来と現在の防火防災てんこ盛りの訪問となった。(高田)



東住吉

Higashisumiyoshi

幼児防火・防災研修

今年度も管内の全幼稚園、保育園(所)で研修を行った。大阪北部で発生した地震や西日本を襲った豪雨等で日程変更もあったがすべて実施することができた。

研修は避難訓練の後、園児の前で先生方が消火訓練を行った。あわせて予防担当と立入検査を実施し、園(所)の防火管理等の意識も高めてもらった。研修期間中に中学生の職場体験と重なる日があり、生徒たちが同行し、防災指導を学ぶ機会になった。(岡)



水上

Suijo

おもちゃ花火教室

6月29日、管内で唯一の保育園である築港保育園において、火災予防の啓発と家庭での安全管理を目的として「おもちゃ花火教室」を実施した。

当日は曇天であったが、子供たちの明るい笑顔で重い雲も吹き飛んでいった。年長組12人による花火を安全に取り扱う実体験が行われ、幼いながらも防火・防災の知識が身に付いたことを確信した。(田中)



平野

Hirano

暑熱順化トレーニング

近年の猛暑により災害現場や各種訓練で熱中症により体調を崩す職員が増加していることから、当署において、6月から熱中症に対する研修を行い、暑熱順化トレーニングを実施した。

参加した職員は「暑い～、きつい～！」と言いながらも災害現場で有効に活動できるように、毎当務のトレーニングに取り組んだ。多くの職員がトレーニングの効果を実感し、今年の暑い夏を乗り切ることができた。(彦川)

